

第2回久喜市総合振興計画審議会 会議録

発言者	会議のてん末・概要
1 開会	
<p>関根参事兼企画政策課長</p>	<p>委員の皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から、第2回久喜市総合振興計画審議会を開会させていただきます。</p> <p>開会に先立ちまして、出席委員のご報告をさせていただきます。</p> <p>本日は、委員20名中、19名出席となっております。過半数に達しておりますので、久喜市総合振興計画審議会条例第7条第2項の規定により、本会議が成立いたしますことを、ご報告させていただきます。</p> <p>次に、議題に先立ち、皆様にご了承をいただきたい点が2点ございます。</p> <p>まず、会議録の作成のために、会議の様子を録音させていただきます。</p> <p>2つ目に、本会議は、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき公開となりますことから、傍聴を希望される方がいる場合には、受け入れるものでございます。なお、本日の会議につきまして、傍聴者はいらっしゃいません。</p> <p>続きまして、本日の配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前に配布させていただいておりますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回久喜市総合振興計画審議会 次第 <p>こちらは本日、机上に変更版という形で配布しております。次に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 各種基礎調査報告 ・資料2 人口推計報告 ・資料3-1 市民意識調査結果（市民アンケート）（ダイジェスト版） ・資料3-2 市民意識調査結果（中学生アンケート）（ダイジェスト版） ・資料4 市民ワークショップ実施状況報告 <p>こちらは本日、机上に配布したものでございます。次に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5-1 第2次久喜市総合振興計画 構成及び計画骨子（案） ・資料5-2 第2次久喜市総合振興計画 構成及び計画骨子（案）全体図 <p>最後に、本日、机上に配布したものでございますが、参考資料といたしまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料 久喜市SDGs取組方針 <p>以上、次第を含めまして、9点でございますが、不足等はございませんでしょうか。</p>

	ありがとうございます。
--	-------------

2 会長あいさつ

関根参事兼企画政策課長	それでは、続きまして、石上会長からご挨拶を頂戴したいと思います。石上会長、よろしく願いいたします。
石上会長	皆様、こんにちは。 本日は、第2回の総合振興計画審議会ということで、ご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。 前回は、策定に向けての基本方針やスケジュール等について説明がありましたが、今回は市民意識調査の結果や各種基礎調査の報告などについて事務局から説明がございます。本市の置かれている基本的な状況や、市民の方々の本市の行政に関するお考えなどについて、委員の皆様と情報を共有させていただきたいと思います。 今回はそのようなことが中心になりますけれども、前回に引き続き、闊達にご意見をいただければと思いますので、ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。
関根参事兼企画政策課長	石上会長、ありがとうございました。 次に、会議録に署名をいただく委員の確認をお願いいたします。
石上会長	はい。今回の会議録の署名委員ですが、私の他にもう1人の委員の署名が必要となりますので、恐縮ですが今回も名簿順ですと、足利委員さんですが、本日ご欠席ですので、伊藤委員さんをお願いをしたいと思います。 よろしいでしょうか。
伊藤委員	(了 承)
関根参事兼企画政策課長	ありがとうございます。 伊藤委員さんには、会議録のご確認と署名をよろしくお願いいたします。
関根参事兼企画政策課長	それでは、議事に移らせていただきます。 会議の進行につきましては、久喜市総合振興計画審議会条例第7条の規定に基づきまして、会長に議事の進行をお願いいたします。 それでは、会長よろしく願いいたします。

3- (1) 議題 各種基礎調査報告について

石上会長	それでは、しばらくの間、議事進行を務めさせていただきます。
------	-------------------------------

	<p>円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方の特段のご協力をお願いいたします。</p>
石上会長	<p>それでは、議題の（１）「各種基礎調査報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小室担当主査	<p>下記資料に基づき説明 ・資料１ 各種基礎調査報告</p>
石上会長	<p>ただ今、事務局から「各種基礎調査報告について」説明がありました。ご質問、ご意見等はございますか。</p>
山中委員	<p>資料を送付していただき、ありがとうございます。勉強不足で、知らない用語がありまして、Society5.0 について、自宅に帰ってよく調べることはできますが、今簡単にでも教えていただければありがたいです。もう1点気になったのが、「医療・安全」のところで、刑法犯認知件数や交通事故件数など、安全面が他の市や近隣市と比べると高く、改善の必要があるとのことなので、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
小室担当主査	<p>まず、2点目の刑法犯認知数や交通事故件数につきまして、比較的多いということですが、実際に、本市に大型商業施設が立地していることから、例えば刑法犯認知件数には殺人以外にも万引きなども全部含まれてくる形だと思います。指標の見方にもよりますが、賑わいがある、活性化しているといったことも要素として関わってくるのだと思います。少ないに越したことはないですが、警察の取り締まりによる検挙率にも関連してくるため、安全・安心なまちづくりのために、防犯の部分もしっかり取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、交通事故件数については、市内にはさいたま栗橋線などの幹線道路があります。そのため、埼玉県南部や東京区部と比べると自動車の交通量が多いため、交通事故件数もやはり多くなってしまうと考えられます。例えば、生活道路などで、子どもたちの安全を守る取り組みについて市としても進めていきたいと考えています。</p> <p>Society5.0 とは、簡単に申し上げますと、サイバー空間、いわゆるインターネット上の空間と現実の空間を融合させて、デジタル社会を人間社会に活用していくということで、経済発展や社会的課題ということで、自動運転やドローンの活用、宅配サービスなど、社会課題の解決を目指す、人間重視の社会でデジタルの活用を図ることです。現実世界でデジタルの技術を活用することが国の Society5.0 で言われていますが、地方自治体でもそのようなことが取り入れることができればと思います。</p>

山中委員	<p>具体的になかなかイメージが湧いてこないのですが、これからの取り組みなのでしょうか。何かアドバイスはありますでしょうか。</p>
目黒課長補佐	<p>Society5.0 について補足させていただきます。内閣府のホームページで確認した内容になりますけれども、代表的なものでは AI を活用したロボットや、町中で荷物を運んでくれる自動運転の車などです。また、インターネットを活用して様々なサービスを受けられることは、デジタルトランスフォーメーションの話があったように、デジタル化社会にもつながっていきます。ビッグデータというインターネット上の大量のデータをうまく活用しながら、いろいろなニーズに対応していくなどして、電子空間を活用しながら、多様な社会のサービスや在り方を変革させていきましよう、といった概念になっています。</p>
石上会長	<p>1次産業、2次産業、3次産業ときて、4次産業が情報化だとすると、その先の5次産業が Society5.0 というイメージかと思います。</p> <p>市民の方にもわかるように、最終的には補足説明などが必要かと思いません。</p> <p>刑法犯や交通事故件数については、意外に思いましたが、昔から多いのでしょうか。</p>
目黒課長補佐	<p>従前のデータはこちらでも確認できていませんが、先ほども事務局の小室のほうからも申し上げましたように、人が集まっているということもあって、警察も犯罪の検挙には力を入れていることから、認知件数が多い傾向にあるかと思います。また、圏央道のジャンクション等があることで、交通網が複雑化し、一般道の交通量も多いため、久喜市内の場所で交通事故が発生してしまうと、久喜市のものとしてカウントされてしまうので、そういった影響があるかと思えます。</p>
柿沼委員	<p>人口構造のところで、外国人の人口の増加に触れられていますが、外国人の具体的な人数や比率のデータがありませんので、SDGs でも触れられていますが、多様な人々に対する施策を考える際には、そのようなデータがあった方がよいと思います。</p>
小室担当主査	<p>外国籍の人口ということで、本市でも外国人の人口は増えている状況にあるかと思えます。多文化共生社会ということで、どのような方であっても暮らせるまちということは必要なことだと思います。ここには載っていない状況でございますが、外国籍住民の状況など、外国人のデータも今後確認しながら基本計画を策定し、市の取り組みとして推進していければと考えておりますので、よろしく願いできればと思います。</p>

高田委員	<p>いろいろなデータを出していただきましたけれども、例えば交通事故件数について、課題があるのは分かりましたが、それを立証するために必要なデータ、例えば車両の保有台数や道路状況など、どう分析するのかはわかりませんが、それを深掘りするようなところについて、課題発見から次の分析ができるものとして、補足資料としてのデータがあれば、分かりやすく課題が見えてくると思いました。</p>
小室担当主査	<p>車両の保有台数など深掘りできるデータ、また先ほどの柿沼委員さんからありました外国籍住民の人数ですとか、そのようなデータについて、こちらで調べてみまして、次回以降に補足資料としてお出しできればと考えており、集計させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
宮内委員	<p>行政・財政に関し、ふるさと納税について触れていますが、返戻金が3割までとなっているが、久喜市は逆に納税された額より住民税が減っているようになっているかと思えます。税収の検討に関し、ふるさと納税の活用や方法はどのようにお考えになっていますでしょうか。</p>
小室担当主査	<p>ふるさと納税の関係でございますが、ふるさと納税の税収ということで、日本全国で繰り広げられているところですが、やはり都市部から地方へ税金が流れているということで、久喜市においても、ふるさと納税の税収よりも、税収減が多いかもしれません。市の魅力アップも課題でございますが、そういう部分も含めて、本市をより多くの人に知ってもらえるようなプロモーションをしながら、ふるさと納税の税収も含めて、自主財源の確保ということで進めていければと思いますので、市の PR も含めて取り組んでいきたいと思えます。</p>
明野委員	<p>医療・安全のところ、1万人当たりの病床数について、栗橋の済生会病院が移転する予定を聞いていますが、その移転の影響を反映したデータなのでしょうか。その辺をお聞かせいただければと思います。</p>
小室担当主査	<p>済生会栗橋病院につきましては、本市から加須市に移転するというところでございますが、今回のデータの出典元は、2018年の厚生労働省の医療施設調査ですので、現状2018年時点では栗橋病院は本市に所在しているところですので、済生会病院の病床数も含まれたデータとなっています。今後、済生会病院が移転すれば、この病床数にも影響が出るかと思えますが、今後の取組みとしましては、移転に伴う補完的な医療施設の整備など、移転後の地域医療の在り方に関する取組みを進めていければと思っております。</p>

田中委員	調査結果概要のところ、多様性への理解の中で、LGBT の記載があるかと思いますが、現在は LGBT に該当しない考え方もあります。LGBTQ や LGBTQ+などの表記方法があります。これに関するデータや調査結果はありますでしょうか。
中村総務部長	広報くきの4月号でもお知らせしておりますが、性的マイノリティに関する市民アンケートを本市のほうでも実施しております、10月1日を目途にパートナーシップ制度を導入することで準備を進めているところでございます。パートナーシップ制度の導入に関するご質問をさせていただきまして、パートナーシップ制度については、7割強の市民から「賛成」「どちらかと言えば賛成」という意見をいただいています。それを踏まえまして、性的マイノリティの方についてもパートナーシップ制度ということで、市行政、また民間の方々にご協力をいただきながら、パートナーシップ制度導入の準備を進めているところでございます。
田中委員	難しいところもあるかと思うのですが、今後、総合振興計画を策定・実施していく段階では、さらに性に関する考え方は多様化していくと思いますので、数値を出していった方が具体的な取り組みにつながると思いますので、よろしく願いいたします。
石上会長	ご指摘も踏まえて、よろしく願いいたします。 またご指摘・お気づきの点がございましたら、後ほどいただきたいと思いますが、先に進めさせていただきます。

3- (2) 議題 人口推計報告について

石上会長	続いて、議題の(2)「人口推計報告について」、事務局から説明をお願いします。
小室担当主査	下記資料に基づき説明 ・資料2 人口推計報告
石上会長	ただ今、事務局から「人口推計報告について」説明がありました。 ご質問、ご意見等はございますか。
柿沼委員	合計特殊出生率がかなり低くなっている一方、転出が少なくなっていることは、うまくいっていると思います。0～4歳の実績値がマイナスになっていて、いろいろ複合的な要因があると思いますが、急いで止めないといけないと思います。そこをお願いですが、私どもも行政の方といっしょ

	<p>になって人口流入も含めて施策を行っているのですけれども、旧市町ごとにするかはわかりませんが、区域ごとの人口があると、この先5年間で施策を実施したときにも、5年後にどのエリアでどのような影響があったか分かりやすいと思います。5年間でうまくいったことは、他の区域で行うことができます。ただ、どこで地区を区切るか、例えば、栗橋と南栗橋で割るのかは考える必要がありますが、それくらいの単位で人口のデータがわかりやすくなっていると、とてもありがたいと思います。この会議で出てくるものではないかもしれませんが、そのようなデータがあればよいと思います。</p>
小室担当主査	<p>本市は1市3町が合併しましたので、久喜、菖蒲、栗橋、鷺宮地区とございます。地区ごとの人口につきましては、住民基本台帳を見れば、エリアごとの人口を見ることができますので、人口の増減、1市3町ごとの人口がわかりますので、分析はできるかと思えます。これまでの地域ごとの流れを見ながら、違いを見ながら、どのような施策を打つべきか、データ分析をしながら効率の良い施策を進めていきたいと思えます。</p>
石上会長	<p>地区ごとにデータを見ていくことができる程度できるということですね。この人口推計の分析は、国立社会保障・人口問題研究所が行ったのですか、市が独自で行ったのですか、どちらでしょうか。</p>
石川係長	<p>今回の人口推計は、市独自の推計でやらせていただいたものでございます。先ほどの補足になりますが、各地区の人口につきましては、これから先をお示しするのは難しいと思うのですが、これまでのエリア別の人口の経緯を踏まえ、どれだけの増減があったのかについては、データをご用意したいと思えます。</p>
山中委員	<p>20代の人口が2015年当初の予測より多いことについて、予測より転出が少なかったとのことですが、なぜ転出が少なかったかの考察があれば、教えていただきたいと思えます。個人的には、都心への交通の便の良さで、東武伊勢崎線やJR湘南新宿ラインなど、都心への交通の便が良くなったことが、学生や仕事をする若い世代によって良かったと思っていますが、どのようにお考えでしょうか。</p>
目黒課長補佐	<p>事務局の考えとしてお聞きいただければと思えますが、ご意見の通り、JR上野東京ラインなどが新たに設定されたことによる交通の利便性の向上が1つの要因として挙げられると思えます。20代くらいの方は、主に入学、就職で都心へ移られる場合がこれまで多かったと思えますが、こういった利便性の向上によって地元に残る方が多くなったと推測されます。</p> <p>また、鷺宮地区、主に東鷺宮駅周辺では、マンションや新しい住宅建設</p>

	<p>が多い傾向にあり、人口が若干増えているかと思えます。そのような要因が反映された結果だと考えています。</p>
<p>山中委員</p>	<p>単身世帯だけでなく、子どもが生まれたばかりの方など、ファミリー世帯が増えていることもあるのでしょうか。</p>
<p>目黒課長補佐</p>	<p>新しい住宅が立地している地区では、そのような傾向もあるかと思えます。例えば、マンションが増えている桜田小学校の地区では、児童数が増えるなどの傾向がありますので、局地的にはそういうこともあるかと考えています。</p>
<p>松本委員</p>	<p>市としては人口が増えた方が良いでしょう。日本全体の問題でもありますし、例えば、千葉県では人口が増えているところもあるので、それは素晴らしいことで、近くの人口が増えている市町村を応援するなどもあると思います。久喜市が増えている、周りが減ったら意味がないのではないのでしょうか。人口が増えたとなれば久喜市が面白い取り組みをした結果となるので、ただ増えたか減ったかというのはどうなのでしょう。市町村レベルでは、どのような意識で人口を捉えたいと思っているのでしょうか。</p>
<p>石川係長</p>	<p>国が示す人口推計によりますと、国全体では人口が減っているということで、人口減少を食い止めるためには合計特殊出生率を改善することが最も重要です。ですが、久喜市では合計特殊出生率だけでは、やはり人口は右肩下がりであって、人口を維持するためには、合計特殊出生率の改善だけではなく、社会増減に着目して、他の自治体から久喜市に移り住んでいただくことが重要であると認識しています。国が言う合計特殊出生率の改善とともに、社会増減に関する施策も、両輪で取り組むことが必要と考えています。</p>
<p>山中委員</p>	<p>より住みやすい環境にするため、ということでしょうか。</p>
<p>石川係長</p>	<p>住みやすい環境にするためと、子どもを安心して産み育てられる環境整備、それと久喜市の魅力をアップし、いろいろな方に久喜市を知っていただくということが必要だと思います。</p>
<p>石上会長</p>	<p>他にありませんか。 それでは、「人口推計報告について」は以上となります。</p>

3－（3） 議題 市民意識調査の結果について

石上会長	<p>続いて、議題の（３）「市民意識調査の結果について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小室担当主査	<p>下記資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料３－１ 市民意識調査結果（市民アンケート）（ダイジェスト版） ・資料３－２ 市民意識調査結果（中学生アンケート）（ダイジェスト版）
石上会長	<p>ただ今、事務局から「市民意識調査の結果について」説明がありました。</p> <p>ご質問、ご意見等はございますか。</p>
明野委員	<p>前回の会議でアンケートの調査票を見せていただいたのですが、アンケート結果について、ダイジェスト版ではなく、設問に関する回答が出ている資料は特になのでしょうか。</p>
小室担当主査	<p>今回はダイジェスト版として主要な結果を報告させていただきました。全部の設問に対する回答の単純集計結果や、地区別や年代別といったクロス集計については、後日最終版の報告書を作成しまして、委員の皆様にご提供したいと思いますので、しばらくお待ちいただければと思います。</p>
齋藤委員	<p>このアンケートとても良いなと思ったのですが、残念ながらアリオについては載ってなくて、これが現状なのかなということで、ショッピングモールを運営する者としては、頑張っていきたいと思っています。市民の方に寄り添ってイベントを行っていききたいと思っています。励みになる資料です。</p>
山中委員	<p>市民アンケート調査のダイジェスト版 14 ページで、久喜市のイメージとして「活気があるまち」と思う人が過半数に行かないということで、商業施設があり賑わいがあると感じるのにも関わらず、感覚としては活気がないということです。活気とは何だろうかと個人的には思いました。大きい商業施設があり賑わっていることと、街に活気があることはイコールではないのだと感じました。</p> <p>もう一つ、先日、相模原市に用事があって行ってきたのですが、若いころ相模原市に住んでいたこともあり、久しぶりに用事で行くことができました。大学が多くあり、活気があると感じました。地元のバスの後ろに「誰もが過ごしやすいまち」というような言葉が書かれていました。広報くきでこういったフレーズを発表することもよいですが、走る広告として、「子どもから高齢者まで誰もが健康で暮らせるまち」というような、</p>

田中委員	<p>これから決める言葉を、私たち一人ひとりがいつも目にする街を走るバスなどを書く、良いなと思いました。</p> <p>市民アンケートの回答数についてお伺いしたいのですが、市民アンケートで 5,000 人に郵送して、回収率が 47.4%ということで、これが事実としてあると思うのですが、策定にあたって必要数を満たすというか、何か基準があったのでしょうか。</p>
石川係長	<p>今回 47.4%ということで、こちらは母数に対し回答数が大きければ大きいほど、誤差が少なくなり、好ましいですが、2,370 人の回答があれば、誤差はあまりなく、正確な結果であるものと思っています。</p>
田中委員	<p>中学生はタブレットで回答していただいて、回収率が 97.3%でしたが、大人の回収率は 50%以下で、前回も低かったと思いますね。今後、郵送なのか、分母を増やすのか、何らかの改善があってもよいかと思います。</p>
小室担当主査	<p>前回の回答率が 50.9%になります。</p>
石上会長	<p>悩ましいですが、これだけボリュームのある設問だと、紙での郵送が基本にならざるを得ないと思います。そうすると、良くて半数くらいの回収率がいろいろな調査の相場だと思います。タブレットだとほぼ 100%ですので、いろいろな形で回収率が上げられると思います。必ずしも 2,370 人あればよいということではなく、5,000 人のうち、どのような方が回答しているかが重要です。例えば、女性の方が多い、お年寄りの方が多いなど、若干偏りが出たりします。ご指摘の通り、回収率が高いほど、その偏りが少なくなるため、いろいろ工夫していただければと思います</p>
高橋委員	<p>両方のアンケートで、健康の取り組みに関しての関心が高いと思います。これは、ある意味で当然といえば当然なのですが、健康に焦点を当てると、運動実施率との関係をクロス集計してはどうでしょうか。年代別の分析であれば、当然中学生の運動実施率は高いはずですが、高齢者の運動実施率と認識との関係や、医療費との関係についてもクロス集計をさせると、おそらく認識と行動とのずれが見えてくるかと思います。行動のずれが、何による影響なのか、例えば環境の影響なのか、好き嫌いの影響なのかまで突っ込んでいくと、かなり見えてくるかと思います。</p> <p>今回、審議会委員を拝命させていただき、学生とフィールドワークをしましたが、高齢者地区と旧農村地、旧住宅地、新興住宅地など、地域性の分断が見られています。恐らく地域性によってかなり結果がブレると思います。全体的な考察より、そのような要因を主軸にして分析して対策され</p>

<p>小室担当主査</p>	<p>た方が、より分かりやすく、より効果的なのかなと思います。</p> <p>2点、健康に関しての指標は何なのかということと、地域別により戦略的に分析していただけるとありがたいということをお願いします。</p> <p>まず、指標という部分になってくるかと思いますが、例えば、健康指標などを今後基本計画の中で KPI（重要業績評価指標）に設定してまいりますけれども、健康寿命などにより、市の取り組みの効果を図ることも考えられます。運動実施率ということで、今コロナの状況があり、アンケート結果では「健康で安心して暮らせるまち」が上位に挙がっています。本市でも「健幸（けんこう）スポーツ都市宣言」をしまして、スポーツを通じて健康に、幸せに暮らしていくことを目指して宣言しておりますので、そういった部分も含めて、どうやって健康に長く暮らしていけるかということに取り組んでいきたいと思っています。また、医療費の増加ということであれば、特定検診やがん検診の受診率の向上にも取り組んでいかなければならないと思っておりますので、市民の皆様のスポーツ実施率を上げるなどして、健康寿命につながるような施策を行い、効果を検証していきたいと考えています。</p> <p>地域別の分析については、旧農村地域や新興住宅地などがありますが、スポーツ1つやるにしても、その地域の土壌があるかと思っておりますので、その地域独自でできることや、市民の皆様と協力してできることなど、いろいろあると思います。地域の中に入り込んで、スポーツの講座などを実施したうえで、状況を見ながら最適な取り組みを進めていきたいと思っています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>このアンケートには関係ない部分の指摘をさせていただきましたが、お話いただいたような別指標で分析していただくと見えてくるものがたくさんあると感じましたので、お話させていただきました。</p>
<p>石上会長</p>	<p>市民アンケートは、満足度と力を入れてほしい取り組みとのギャップを注視しながら、計画に反映するやり方があると思います。</p>

3- (4) 議題 市民ワークショップの実施状況報告について

<p>石上会長</p>	<p>続いて、議題の(4)「市民ワークショップの実施状況報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>小室担当主査</p>	<p>下記資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4 市民ワークショップ実施状況報告
<p>石上会長</p>	<p>ただ今、事務局から「市民ワークショップの実施状況報告について」説明がありました。</p>

<p>石上会長</p>	<p>7月中にワークショップが実施され、8月1日に取りまとめが行われるとのことですが、今日の段階では具体的な話はなく、次回以降に共有していただきます。</p> <p>ご質問、ご意見等はございますか。</p> <p>(意見・質問なし)</p> <p>8月1日のワークショップや、11月のシンポジウムで出てきた意見を反映することになると思います。予めご了承くださいませと思います。</p> <p>それでは、「市民ワークショップの実施状況報告について」は以上となります。</p>
-------------	--

3- (5) 議題 第2次久喜市総合振興計画の構成及び骨子(案)について

<p>石上会長</p>	<p>続いて、議題の(5)「第2次久喜市総合振興計画の構成及び骨子(案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>小室担当主査</p>	<p>下記資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5-1 第2次久喜市総合振興計画 構成及び計画骨子(案) ・資料5-2 第2次久喜市総合振興計画 構成及び計画骨子(案)全体図
<p>石上会長</p>	<p>ただ今、事務局から「第2次久喜市総合振興計画の構成及び骨子(案)について」説明がありました。</p> <p>ご質問、ご意見等はございますか。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>先の話になりますので、ここでの議論が良いかどうかわかりませんが、おそらくKPI等の設定については、PDCAサイクルを回すための評価に結びつけたいと思いますが、いわゆる目標と評価の一体化をどのように考えていらっしゃるのでしょうか。また、基本計画の中で評価に関して触れるのでしょうか。お考えをお聞かせください。</p>
<p>石川係長</p>	<p>現行の総合振興計画でもPDCAサイクルを回しております。行政評価という形で、毎年度各施策やそれに紐づく事務事業を、外部機関である行政評価委員会に諮り、事業の内容や成果指標の進捗状況などをもとに評価をいただいています。この第2次総合振興計画につきましても、同様に行政評価や内部評価を活用して進捗管理を図ってまいりたいと考えております。また、第2次総合振興計画では序論に進捗管理を行う旨を記載したいと思っております。</p>

石上会長	<p>ご指摘いただいた PDCA サイクル、つまりやりっぱなしではなくきちんと評価することについては、久喜市でも非常に重視しておられます。行政評価という仕組みを作られて、外部の方に入っただきながら、毎年、成果指標の達成度を議論して、その結果を市民の皆様に公表しています。本計画でも、市の評価システムを使う形で行っていくということかと思えます。</p>
柿沼委員	<p>次回も事務局案が出てくると思いますが、今日の議論でもあったように、出生率低下や子どもの人口が減っていることは深刻で、喫緊の課題だと思います。市が持続可能に進んでいくためにも、子どもの数は一番を考えていただきたいと思っています。そのうえでやはり数値目標を出し、理念だけ高々に挙げて実現されなければ意味がないと思います。重要なポイントとして目標値と合わせ、それに対する施策もステークホルダーと話し、きちんと明確にしたうえで、計画に活かしていただきたいなと思います。</p>
石川係長	<p>柿沼委員さんのおっしゃるとおりで、今回の計画を作るに当たり、市でも出生率は重要課題と考えていますので、今後、基本構想や基本計画を作る中でしっかりと対応していきたいと思っています。</p>
明野委員	<p>今回の総合振興計画では、SDGs の理念がだいぶ強く出ていると思います。前回の会議でも、子どもたちの SDGs の理解が重要という意見が出ていましたが、一般市民の方にも、なぜ SDGs なのかの説明が必要です。私自身も勉強不足で、高校生の娘が学校で勉強したことを聞いたという状況です。</p> <p>SDGs の手法を使うのは良いと思いますが、子どもたちや一般市民に SDGs の理念をどういうふうに伝えていくかということについて、どのようにお考えでしょうか。一般市民が SDGs を分からなければ、この計画を見てもわからず、SDGs 自体が読めないということもあると思いますので、その辺の考えをお願いします。</p>
小室担当主査	<p>先ほどのアンケート調査結果を見ますと、SDGs の認知度は中学生が半数以上、大人の方が半数未満です。やはり SDGs については、市のほうでどのように周知していくかということになるかと思えます。SDGs につきましては、行政だけでなく、市民の方の身近な取組みからも達成に向けて寄与していくものになります。例えば、マイボトルを持つですとか、レジ袋をもらわないですとか、そういった簡単な部分から始められることがたくさんあるかと思えますので、日々の皆様の身近な行動がどのように結びつくのかを、市で普及啓発することで進めたいと思います。本年につきましても、ワークショップやシンポジウムなど、身近な取組みを含めまし</p>

	<p>て、講話などを用意いたしまして、SDGs の普及に努めていきたいと思いをします。</p> <p>また、広報くきでも、SDGs に 17 のゴールがありますけれども、1つ1つの説明や、皆様でできることなど、身近に感じられる話題を盛り込みながら、SDGs 自体を身近に感じていただいて、市民の皆様で進めていく機運を高めていきたいと思っています。</p>
明野委員	<p>出来れば骨子の中にも SDGs とはということで、説明を分かりやすく入れていただくのも1つの方法だと思いますので、よろしくお願いします。</p>
高田委員	<p>つながる話だと思うのですが、松本委員の人口に関する質問でもありましたが、目標が達成されると、どのような世界が久喜市に生まれるのか、未来がどういうふうになっているのだろうかということを、中学生でもわかるようなビジョンを何か1つ書くと良いと思いました。市民の方の協力なくしてはできないため、出来る限りそのようなビジョン、絵が欲しいなと思いました。</p>
石上会長	<p>その辺は、基本構想の基本理念や将来像で書くことになると思います。</p>
田中委員	<p>総合振興計画の構成と計画期間のところで質問なのですが、実施計画の3か年の矢印が8つ並んでいます、これはどういうことでしょうか。</p>
小室担当主査	<p>実施計画は、3年間で1年ごとにローリングして、見直しをしていきます。最初は令和5・6・7年の3年間、翌年は令和6・7・8年の3年間で、ローリングして見直しされていくという意味のものでございます。</p>
田中委員	<p>これは、KPI と照らし合わせていくのでしょうか。</p>
小室担当主査	<p>先ほどの重要業績評価指標（KPI）につきましては、実施計画より1つ前の基本計画の部分で、総合戦略と一体化を図るために基本計画で設定していきたいと思っています。</p>
石上会長	<p>実施計画は、評価期間も含めて3年間ですか。実施するのが3年間ですか。</p>
石川係長	<p>実施計画は、例えば令和2年度であれば、令和3・4・5年度分を作っています。今回、第2次総合振興計画を作るにあたっては、令和5年度から10か年の基本構想と5か年の基本計画、それと同時に3か年の実施計画を作ります。3年間そのままではなく、臨機応変に、例えば今年度事</p>

<p>石上会長</p>	<p>業が思ったより進んだから次の3年間はという形で、毎年度見直しをしていきながら、基本構想の10年間や基本計画の5年間の目標を達成していくために、見直しを図っていくということで考えています。</p> <p>実施計画は3年間で、最初に令和5・6・7年度の3年間の計画を作ります。1年経ったところで、その3か年計画を見直すということですね。ですから、3年間計画を毎年見直す形かと思います。</p> <p>SDGsを入れるのは大変結構なことかと思うのですが、5つのPについて5番目のPである平和の中に、これまでの大綱の行政運営や行政改革が入っていますが、何かすわりが悪いように感じます。他の事例でもこのような分類でしょうか。他の健康や医療などは、つじつまが合っていると思いますが、平和と行政運営や行政改革は、少々他に比べるとつながりが弱いのかなと思いますが、いかがですか。</p>
<p>小室担当主査</p>	<p>ご指摘のとおり、SDGsは世界的なものになりますので、世界レベル、国レベル、市町村レベルがありますが、平和の部分の位置付けについては、例えば裁判や警察といったものが主体的なものになります。市町村レベルで落とし込めるものとなったときに、例えば法律や条例に基づいて公正な形で行政運営をしていくという紐づけをしたということで、ご理解をいただければと思っております。</p>
<p>石上会長</p>	<p>過去の項目立てを、時代の潮流背景に合わせて、SDGsと整合を取っていくということだと思います。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>それでは、「第2次久喜市総合振興計画の構成及び骨子（案）について」は以上となります。</p>

4 その他（久喜市SDGs取組方針について）

<p>石上会長</p>	<p>議題については以上で終了となります。</p> <p>次に、「4 その他」について、始めに、次第にも記載がありますが、「久喜市SDGs取組方針」について、事務局から報告をお願いします。</p>
<p>小室担当主査</p>	<p>下記資料に基づき報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料 久喜市SDGs取組方針
<p>石上会長</p>	<p>ただ今の報告も含めまして、委員の皆さんから何かございますか。</p> <p>（意見・質問なし）</p>

<p>石上会長</p>	<p>では、これが7月9日に策定されたということでございます。</p> <p>他に、事務局から何かありますか。</p>
<p>小室担当主査</p>	<p>それでは、今後の予定等につきまして、ご説明申し上げます。</p> <p>まず、会議録の関係ですが、できる限り全文記録方式に近い形で作成後、今回の署名委員であります会長及び伊藤委員さんの一任で、確定とさせていただきますと存じますので、よろしく願いいたします。</p> <p>次に、次回の会議の開催予定でございます。</p> <p>本日、委員の皆様にご審議いただきました、市民意識調査の結果や各種基礎調査の報告、第2次総合振興計画の構成及び計画骨子（案）を踏まえまして、次回会議では、基本構想と序論の検討原案をお示しさせていただき、ご審議いただきたいと考えております。</p> <p>次回の審議会の開催についてですが、開催日は10月1日（金）午後2時からを予定しております。</p> <p>委員の皆様には、後日改めて正式な開催通知をご送付させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。</p> <p>最後に、もう1点ご案内させていただきます。</p> <p>第2次総合振興計画の策定にあたりましては、市民の意見聴取として、「パブリック・コメント」ではなく、審議会の開催後に、その都度、1か月程度を目安に、市民の皆様からのご意見を募集する予定であります。市民の方から提出のありましたご意見につきましては、意見の内容と、市としての考えなどを、次回の会議でご報告させていただきたいと考えております。</p> <p>事務局からは、以上でございます。</p>
<p>石上会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、事務局から、次回の会議予定等について説明がありました。</p> <p>委員の皆様から何かご質問等ございますか。</p> <p>（意見・質問なし）</p>
<p>石上会長</p>	<p>他にございませんか。</p> <p>無いようでしたら、以上で本日の議事は終了とし、進行を司会に戻したいと思います。</p>

5 閉会

<p>関根参事兼企画政</p>	<p>石上会長、ありがとうございました。</p>
-----------------	--------------------------

策課長	<p>それでは、閉会にあたりまして、小林副会長にごあいさつを頂戴したいと存じます。</p> <p>小林副会長、よろしく願いいたします。</p>
小林副会長	<p>長時間に渡り、慎重な審議をありがとうございます。非常に中身が濃く、SDGs の話など非常に難しい内容もありましたが、素晴らしい計画ができますように、皆様のご協力をお願い申し上げまして、閉会とさせていただきます。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>
関根参事兼企画政策課長	<p>小林副会長、ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましても、大変お疲れ様でございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、第2回久喜市総合振興計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。</p> <p>令和 3年 8月18日</p> <p>会 長 石 上 泰 州</p> <p>委 員 伊 藤 秀</p>	